

循環型社会形成市民懇談会から提言書が出されました



能代市循環型社会形成市民懇談会から、2月15日、市長に提言書が渡されました。市民の皆さんにその概要をお知らせします。

問合せ 資源リサイクル担当 ☎ 89-2188

循環型社会形成への提言書(要約)

市民懇談会の概要

市は、循環型社会形成に向けた方向性を市民参加型で協議する場として、産学官民を網羅し、公募委員も含めた市民懇談会を17年9月に設置しました。循環型社会に関する市民アンケートなども議題にするなど、計7回の懇談会を開催しました。

さらに、秋田県の支援を得て先進地視察や、テーマごとの分科会も4回開きました。また、一般市民を対象としたフォーラムにおいて、懇談会で話し合われた内容を紹介し、さらに議論を深めました。

懇談会における話し合いでは、二ツ井町との合併を控え、取り上げるテーマが広い割に日程が限られていることから、すべての問題を検討して総括的な提言書にまとめることはしないこととしました。

本格的な議論は18年度とし、そのために今何をすべきか、市民レベルで何ができるかを中心に、委員の手で提言書をまとめました。

現今の地球環境問題と能代市循環型社会形成との相关性

我々が現在直面している地球環境問題は、すべてにおいて我々自身が直接または間接的に問題の発生源であり、なおかつ被害者でもあります。

これらの問題は、その問題把握のあり方や対処に大幅な転換が要求されています。つまり、自然破壊を伴ったこれまでの大量生産・大量消費といった経済・社会システムを根本から見直し、廃棄物の排出を極力抑制するシステムを作り上げることが必要です。

地球環境問題を語る際、よく言われる言葉に「地球規模で考え、地域レベルで行動を起こす」というものがあります。地球環境問題は、地域に根ざした運動として進めなければなりません。能代市の循環型社会は経済、ごみ処理、エネルギーなどについて、基本的には地域内の循環としてとらえつつ、状況に応じて広域的展開も視野に入れた取り組みが必要です。

また、地域環境を改善しつつ住みやすいまちづくりに連動していくような、能代市に住むことに誇りを覚える「まちづくり運動」といった生活者の視点に立った位置づけが重要だと考えます。